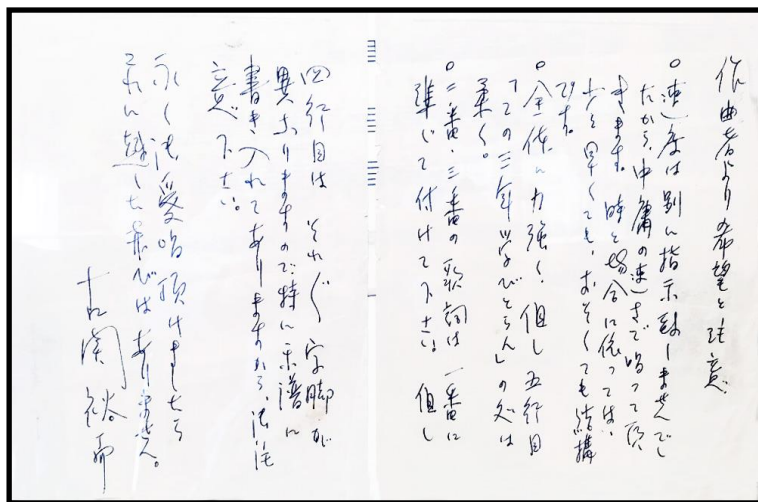


本校の校歌（火野葦平氏作詞・古関裕而氏作曲）が西日本新聞に紹介されました！

本校の校歌が西日本新聞朝刊（8月14日付）に紹介されました。本校の校歌はNHK朝の連続テレビ小説『エール』の主人公のモデルとなっている古関裕而氏が作曲されました。古関裕而氏は『オリンピック・マーチ』『栄冠は君に輝く』『大阪タイガースの歌』など生涯にわたり5,000曲を作曲した正に昭和を代表する作曲家です。記事の詳細は右記のサイト（<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/635407/>）をご覧ください。記事にも紹介されている古関先生直筆の手紙や楽譜が本校の同窓会館（香綾会館）に保管されています。これからも古関先生の思いを込めて、末永く校歌を愛唱していきたいと思えます。

【古関裕而先生直筆の手紙】



作曲者より希望と注意

- 速度は別に指示しませんでしたから、中庸の速さで唱って頂きます。時と場合に依っては少々早くてもおそくても結構です。
 - 全体に力強く、但し五行目「この三年学びとらなん」の処は柔く。
 - 二番・三番の歌詞は一番に準じて付けて下さい。但し四行目はそれぞれ字脚が異なりますので、特に楽譜に書き入れてありますから御注意下さい。
- 永くご愛唱頂けましたら、これに越した喜びはありません。

古関 裕而

本校（香椎高等学校）の校歌が成立するまで

昭和29年 校歌作成委員会を立ち上げ
（作詞を若松在住の芥川賞作家 火野葦平氏に依頼）

昭和29年11月18日 火野葦平氏作詞のため来校
（香椎宮・香椎潟・立花山などを視察）

昭和30年3月3日 火野葦平作詞、古関裕而作曲の校歌完成。

昭和30年7月18日 火野葦平氏来校、文化祭で講演。

演題は「西洋と東洋」。新校歌を発表。



新校歌作詞のため来校した火野葦平氏（中央）と打ち合わせをする和田精吉生徒会長（右）